

コロンビア月例報告（6月分）

外交・内政状況

2015年7月

在コロンビア日本国大使館

E-mail : info@ba.mofa.go.jp

I 概要

【内政】

- 9日 マルティネス大統領府長官の辞任
- 16日 「権力均衡法案」の可決
- 18日 ナランホ紛争後問題・人権・治安担当大臣級審議官の辞任
- 22日 ビジェガス新国防大臣の就任
- 30日 ギャロップ社世論調査結果

【外交】

- 3日 オルギン外相の和平交渉参加（於：キューバ）
- 9日 オルギン外相のEU-CELAC首脳会合閣僚級準備会合参加（於：ブリュッセル）
- 10～16日 サントス大統領の欧州歴訪
（ベルギー、イタリア、バチカン、スウェーデン及びノルウェー）
- 17日 ベネズエラによる国境海域関連政令の発出に対するコロンビア側抗議
- 18日 グリンспан・イベロアメリカサミット事務局長の当国訪問
- 24～26日 バルス・フランス首相の当国訪問
- 26日 オルギン外相の第45回SICA首脳会合及び第15回「トウストラ対話と協調メカニズム」首脳会合参加（於：グアテマラ）
- 29日 ナメ国会議長の中国訪問

II 本文

【内政】

1 マルティネス大統領府長官の辞任

9日、マルティネス大統領府長官が辞任した。後任には、グティエレス官民関係担当大臣級審議官が任命された。

2 「権力均衡法案」の可決

16日、「権力均衡法案」が国会を通過した。同法案は、大統領再選禁止等の三権の権力関係の改革及び機能不全が指摘されている司法府の改革を含んでいた。

3 ナランホ紛争後問題・人権・治安担当大臣級審議官の辞任

18日、ナランホ紛争後問題・人権・治安担当大臣級審議官は、政府側和平交渉団員

としての職務に専念するため、大臣級審議官職を辞任した。

4 ビジェガス新国防大臣の就任

22日、ビジェガス新国防大臣が就任した。

5 ギャロップ社世論調査結果

30日に発表されたギャロップ社による世論調査結果（18～24日に実施）によれば、FARCとの和平交渉の支持率は45%となり、武力による紛争解決の支持率は46%となった。また、サントス大統領の支持率は28%となった。

【外交】

1 オルギン外相の和平交渉参加（於：キューバ）

3日、オルギン外相はハバナで実施中のコロンビア政府とFARCとの和平交渉に参加した。

2 オルギン外相のEU-CELAC首脳会合閣僚級準備会合参加（於：ブリュッセル）

9日、オルギン外相はEU-CELAC首脳会合閣僚級準備会合に参加するため、ブリュッセルを訪問した。

3 サントス大統領の欧州歴訪

（ベルギー、イタリア、バチカン、スウェーデン及びノルウェー）

10～16日、サントス大統領は、オルギン外相とともにベルギー、イタリア、バチカン、スウェーデン及びノルウェーを歴訪した。

（1）ベルギー

10～11日、サントス大統領は第2回CELAC-EU首脳会合に出席するため、ブリュッセルを訪問した。10日、シェンゲン協定国によるペルー及びコロンビアに対する短期滞在査証免除協定が、オルギン外相とアブラモプロス欧州委員会移民・内務・市民権担当委員との間で署名された。11日発出されたCELAC-EU首脳会合の最終宣言においては、コロンビア政府とFARCとの和平交渉の進展を歓迎するとともに、各国が和平実施のため支援する用意がある旨記載された。

（2）イタリア

12日、サントス大統領はミラノを訪問し、国際博覧会のコロンビア・パビリオンを視察した。またサントス大統領は、レンツィ・イタリア首相及びその他の中南米諸国首脳とともに、第7回イタリア・ラテンアメリカ・カリブ会議の開会式に参加した。13日、サントス大統領は、FAOの会議に参加した後、グラツィーノFAO事務局長と会談した。

（3）バチカン

15日、サントス大統領は、フランシスコ・ローマ法王と会談し、和平交渉及び紛争の犠牲者等に関して協議した。フランシスコ法王はコロンビアを訪問予定であるものの、時期は確定できない旨述べた。

(4) スウェーデン

15日、サントス大統領はスウェーデンを訪問し、グスタフ16世カール国王と会談し、和平交渉に関して協議した。同会談後、サントス大統領は、ロヴェーン・スウェーデン首相と会談した。会談後の記者会見においてサントス大統領はスウェーデンによる和平交渉への支援を評価した。

(5) ノルウェー

16日、ノルウェーを訪問したサントス大統領は、和平調停を中心とする和平関連テーマを扱うオスロ・フォーラムに参加した。また、サントス大統領はホーコン皇太子と会談し、ノルウェー議会外交・安全保障委員会との会合をもったほか、ソールベルグ・ノルウェー首相とも会談した。ソールベルグ首相は、サントス大統領に対して和平交渉の加速化を要請した。

4 ベネズエラによる国境海域関連政令の発出に対するコロンビア側抗議

17日、オルギン外相の指示により、コロンビア外務省は、「島嶼海洋統合防衛海域 (Zonas Operativas de Defensa Integral Maritimas e Insulares)」を設定するため5月26日にベネズエラ政府が発出した政令2015年第1787号に対する抗議書簡をベネズエラに送った。

同政令は、ガイアナが米系多国籍企業に対しベネズエラとの係争海域を含む国境海域での探査開始を許可したことを阻止するためのベネズエラによる措置であったが、同海域にはコロンビアとの係争海域（当館注：グアヒラ半島東側沖合のベネズエラ湾（コキバコア湾）内から北側にかけての海域）も含まれていた。なお、ベネズエラは同政令を7月7日付で廃止した。

5 グリンスパン・イベロアメリカサミット事務局長の当国訪問

18日、グリンスパン・イベロアメリカサミット事務局長が当国を訪問し、オルギン外相と会談した。コロンビアは、2014年12月から2年間の持ち回り議長国となっているため、同会談においては、2015年及び16年の活動予定のほか、2016年にコロンビアで開催予定のイベロアメリカサミットの具体的開催地につき協議した。

6 バルス・フランス首相の当国訪問

24～26日、バルス・フランス首相が当国を公式訪問し、25日、サントス大統領と会談した。サントス大統領はバルス・フランス首相との間で、両国間の二重課税防止協定に署名した。また、両国は3.08億ドルに上る融資契約を締結した。

26日、同首相はメデジンを訪問し、仏語学校の開校式に出席し、同日エクアドルに向かった。

同訪問に際して共同声明が発出され、2017年がコロンビア・フランス（友好協力）年であることが特筆された。訪問中、科学、教育、農業等に関連する12の協力覚書が署名された。

7 オルギン外相の第45回SICA首脳会合及び第15回「トウストラ対話と協調メカニズム」首脳会合参加（於：グアテマラ）

26日、オルギン外相は第45回SICA首脳会合及び第15回「トウストラ対話と協調メカニズム」首脳会合に参加するため、グアテマラを訪問した。

8 ナメ国会議長の中国訪問

29日、ナメ国会議長は、中国の全国人民代表大会の招待により上海を訪問した、政府とFARCとの和平交渉及びコロンビアがこれまでに署名したFTAにつき説明した。

（了）